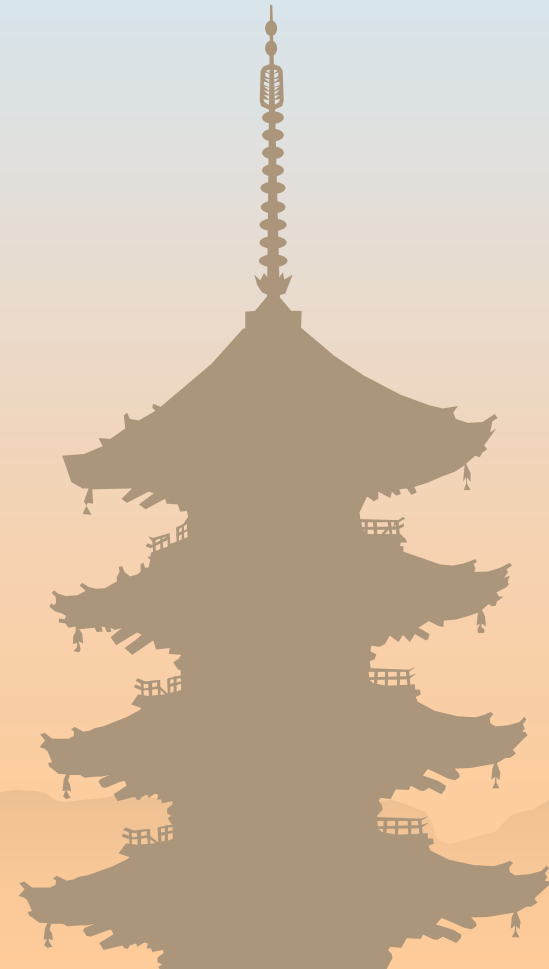


# 「ワンデ - ・レスポンス・プロジェクト」 による意識改革

京都府土木建築部指導検査課  
柳迫康博



そこで出会ったのが「ワンデーレスポンス」でした。基本的には「建設会社から何か質問されたら、24時間以内で返事をしよう」という極めてシンプルなものですが、役所の問題点をズバリと突いている。

役所に不足しているのは「スピード感」です。組織としても不足して

い。これはある「**まる技術の伝承を死守する**」が必要で、手に余るときには必然的に先輩や上司に相談しなければならない。役所の中での技術の伝承にもつながると考えています。

京都市は2006年の夏から、原則としてすべての土木工事で、このワ

●技術の伝承につながるというのは意外ですね。

(写真：特記以外は本誌)

## 「期限を決めて回答する」という 当たり前前の取り組みが役所を変える

市田雅巳さん

(京都市土木建築部下水道課課長補佐)

ワンデー  
レスポンス

会社などの問い合わせに24時間以内で返事をする」というシンプルなる徹底する「ワンデーレスポンス」に、この夏から取り組み始めた京都市。振り役が市田雅巳さんだ。受注者のもうけを阻害する大きな要因として、発注者の判断の遅れや「仕様不明確さ」がある。そのなかで自治体の役人としていま、すべきことは何かを考えた結果だという。



# 日経 **CONSTRUCTION**

NIKKEI CONSTRUCTION

2006 8-11

## OBAYASHI DOBO-QUESTION PROJECT

あなたは土木が好きですか？

29

YES

5

NO

調査●工事成績・コンサルタント業務成績ランキング2006

## 重み増す受注後の提案力

スームアップ

護岸と岩盤を一体化して止水

安全手帳

足場や支保工を有資格者が点検

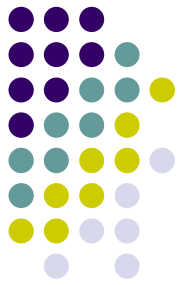
ニューズレター

梅雨前線による大雨で被害相次ぐ

特集

# 発注者は変われるか

逆風下で問われる「新しい役割と責任」



そこで出会ったのが「ワンデーレスポンス」でした。基本的には「建設会社から何か質問されたら、24時間以内で返事をしよう」という極めてシンプルなものですが、役所の問題点をズバリと突いている。

役所に不足しているのは「スピード感」です。組織としても不足して

い。これはある「**まる技術の伝承を死守する**」が必要で、手に余るときには必然的に先輩や上司に相談しなければならない。役所の中での技術の伝承にもつながると考えています。

京都市は2006年の夏から、原則としてすべての土木工事で、このワ

余るときには必然的に先輩や上司に相談しなければならない。役所の中での技術の伝承にもつながると考えています。

●技術の伝承につながるというのは意外ですね。

(写真：特記以外は本誌)

## 「期限を決めて回答する」という 当たり前前の取り組みが役所を変える

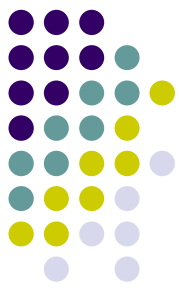
市田雅巳さん

(京都市土木建築部下水道課課長補佐)

ワンデー  
レスポンス

会社などの問い合わせに24時間以内で返事をする」というシンプルなる徹底する「ワンデーレスポンス」に、この夏から取り組み始めた京都市。振り役が市田雅巳さんだ。受注者のもうけを阻害する大きな要因として、発注者の判断の遅れや「仕様不明確さ」がある。そのなかで自治体の役人としていま、すべきことは何かを考えた結果だという。





# 「ワンデーレスポンスプロジェクト」

- ・企業（請負者）のコストアップの主原因が、「不明瞭な仕様書」や「発注者の判断の遅れ」との分析結果
- ・工事は、自然を相手にするため、不確実性は極めて高く、施工中に請負者から施工方法の検討や設計変更などの相談があるのは日常茶飯事のこと。

**迅速に回答するには**



**ワンデーレスポンスにより、発注者が迅速に請負者に問題解決策を実行するなら、**

**公共事業の成果物が早く完成する。**

**建設業者も無駄な手待ちがなくなり、**

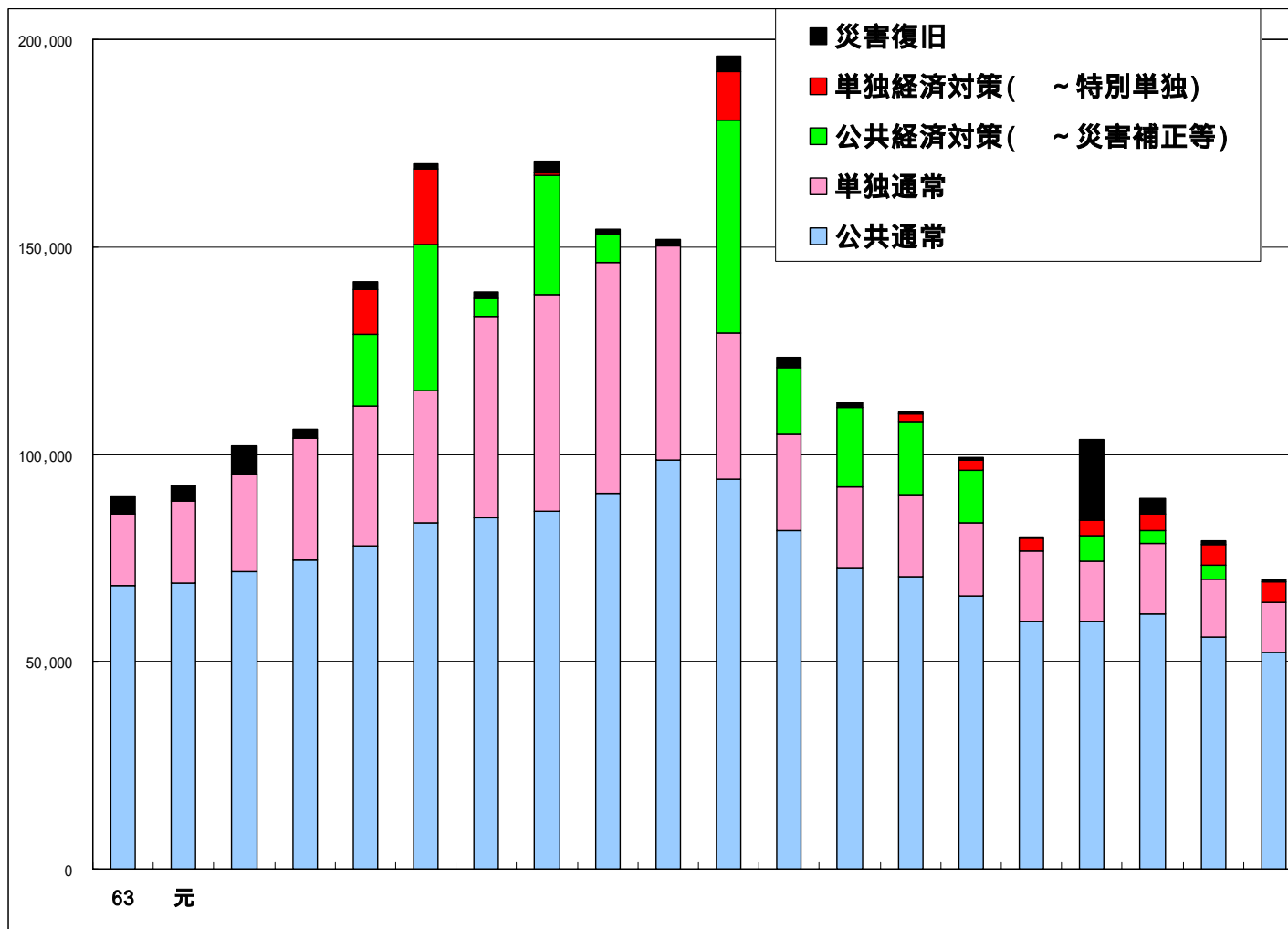
**利益が出せるようになる。**

**より早く成果物としてのインフラが完成すれば、**

**納税者・住民も喜ぶ。**

**「三方良し」の公共事業改革**

# 公共事業費の減少





# その他の課題

- ・団塊の世代の一斉退職

**2007年問題**

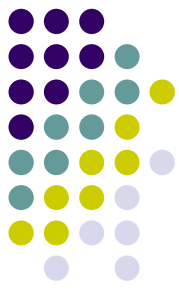
**技術力の伝承ができていない！**

- ・土木の世界における不祥事や談合問題などによる「悪いイメージ」

**モチベーションの低下**



# 「ワンデーレスポンスプロジェクト」 を実施するためには…



## 「報告・連絡・相談」による情報共有が必要

請負者からの問い合わせに早期に回答する。

回答するためには、担当者の技術力が必要

手に余るときは、必然的に先輩や上司に相談する。

回答案の相談、回答済内容の報告。

「報・連・相」による情報共有

経験や技術力の伝承



# モチベーションの低下

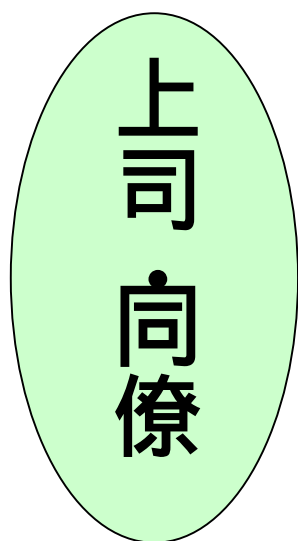
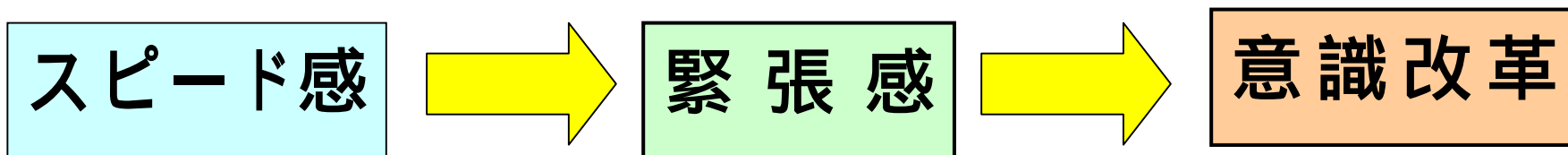
土木の  
魅力

- ・「ものづくり」の楽しさ
- ・構造物完成の達成感
- ・インフラ整備(社会貢献)への使命感

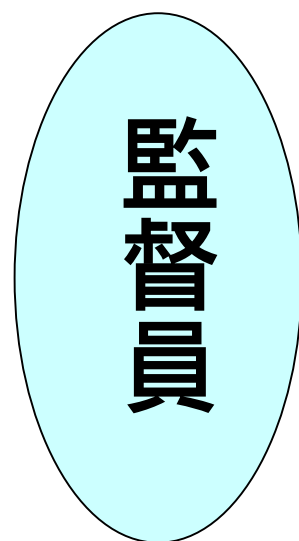
情熱の  
喪失

- ・だらだら仕事
- ・「スピード感」の欠如
- ・「やる気」のない仕事の進め方

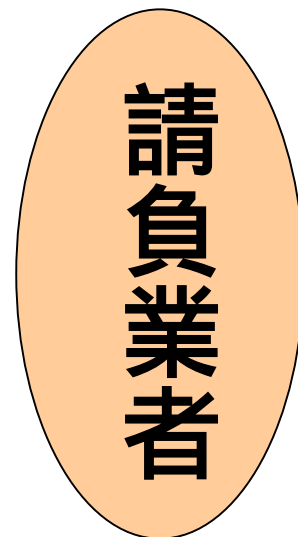
# 「ワンデーレスポンスプロジェクト」 を実施すれば・・・



(一体感)



(信頼感)





# 京都府の取組方法

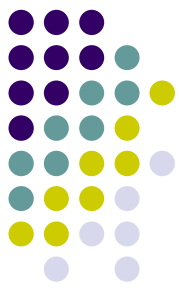
出先事務所の技術課(室)長をリーダーとする。

全ての工事で実践をする。

## 「検証対象工事」の抽出

出先事務所の係毎に1件以上の工事を抽出。

打ち合わせ簿や所内報告書、工程表、検査評定などの資料を収集する。



## 「感想」 (ヒアリング結果)

もともと即答していた。(ただし、事後ながら情報共有するように心がけた。)

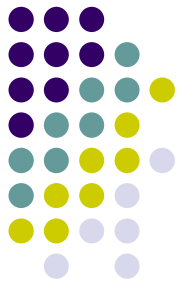
監督員と相談しやすいように、係会議を頻繁に実施した。(そういう態勢を整えた):ある技術室長

毎日、現場に行くように心がけた。(現場の把握のため。)

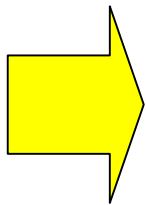
資料もなしに、電話で「どうしましょー」などと聞かれても答えられない。結局、現場に行って、細かく業者と打ち合わせた上で考えるが、どうしても遅くなる。

# 「感想」 (ヒアリング結果) その

2



パソコン + 通信手段を現場でもっていない場合、会社に帰ってから打ち合わせ簿をメールなどで送ってくるので、どうしても遅くなる。(場合によっては、メールを見るのが、翌日となる。)このタイムラグを無視して、ワンデーというのは苦しい。



「打ち合わせ」のやりとりは、キャッチボール。

とりやすい球を投げないと、返球は遅くなる。

# 平成19年度は・・・



「ワンデーレスポンスプロジェクト」

18年度工事の資料収集(とりまとめ)

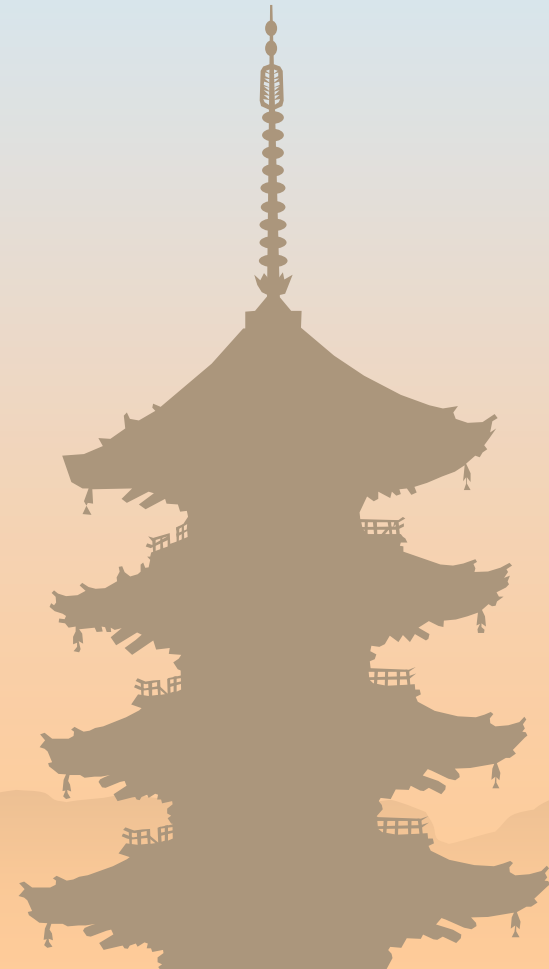
取組の継続

検証工事の拡大

**発注者側の  
意識改革**

受注者への「工期短縮のススメ」

# 社団法人京都府建設業協会の 取り組み





# 平成16年度セミナー

平成16年度先導的・革新的モデル事業を  
テーマとした研修事業(利益を生む施工管理)

北部会場           参加 14社 16名

日 時 平成17年2月8日(火) 13:30 ~ 16:30

場 所 西田記念会館

南部会場           参加 16社 18名

日 時 平成17年2月9日(水) 13:30 ~ 16:30

場 所 京都建設会館

講師 (株)ビーイング 取締役 開発部長

兼 経営推進室長 岸良裕司氏

# 『利益を生む施工管理の実践』セミナー アンケート調査

	全体		福知山		京都	
	大変役に立った	10	29%	3	19%	7
役に立った	23	68%	13	81%	10	56%
普通	1	3%	0	0%	1	6%
余り役にたたなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	34		16		18	

# 平成17年度セミナー

## 利益を生む施工管理の実践セミナー

日 時 平成17年 9月12日(月)

場 所 京都建設会館

主 催 社団法人京都府建設業協会経営委員会

1 開 会 (10:00)

2 あいさつ

社団法人京都府建設業協会経営委員会

委員長 高塚 勝巳

3 研修 (10:10)

講 師 株式会社ビーイング 取締役 開発部長

兼 経営推進室長 岸良裕司氏 他

4 昼休み (12:00 ~ 13:00)

5 閉 会 (17:00)

# 平成17年度セミナー

## 利益を生む施工管理の実践セミナー

### 次 第

日 時 平成17年 9月13日(火)

場 所 西田記念会館

主 催 社団法人京都府建設業協会経営委員会

1 開 会 (10:00)

2 研修 (10:10)

講 師 株式会社ビーイング 取締役 開発部長

兼 経営推進室長 岸良裕司氏 他

3 昼休み (12:00 ~ 13:00)

4 閉 会 (17:00)

# セミナー風景



# 平成17年度報告書

平成17年度

(社)京都府建設業協会 構造改善推進事業

TOCクリティカルチェーンによる経営改革施工管理理論実証実験

報告書

社団法人京都府建設業協会

平成18年3月

平成17年度

(社)京都府建設業協会 構造改善推進事業

TOCクリティカルチェーンによる経営改革施工管理理論実証実験

玉井建設株式会社

実証実験事例報告書

社団法人京都府建設業協会

平成18年3月

# 平成18年度セミナー

- (1)「利益を生み出す施工管理の実践」(13:30～15:30)
- 建設業経営3つのポイント「入札支援、工期短縮、情報共有」
- “段取り八分”を共有、継承「TOCクリティカルチェーン」
- 若手代理人がたちまち辣腕代理人に「全国の成功事例紹介」
- 納税者良し、業者良し、発注者良し「三方良しの公共事業改革」
- 講師：岸良裕司 氏(株式会社ピーイング)
- (2)「株式会社砂子組の事例」(15:40～16:50)
- 講師：熊谷一男(株式会社砂子組 取締役土木部長)
- <開催日>
- 南部会場 平成18年10月12日(木)京都市
- 南部会場 平成18年10月13日(金)福知山市
- <参考> 京都府ワンデイデスponsプロジェクト

# セミナー風景

